

EU Indicators

欧州経済指標コメント：10月ドイツZEW景況感

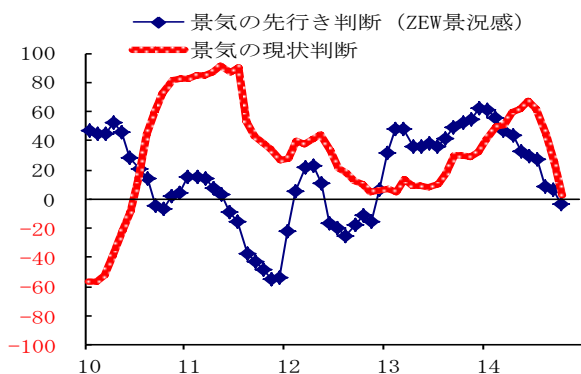
発表日：2014年10月14日(火)

～悲観一色のドイツ景気～

第一生命経済研究所 経済調査部
 首席エコノミスト 田中 理
 03-5221-4527

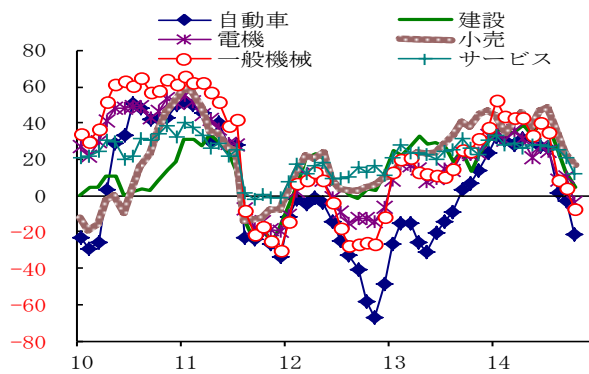
- 10月のドイツのZEW景況感指数（市場参加者による半年先の景況感）は▲3.6と前月（+6.9）から10ポイント以上の低下を記録。今年に入って10ヶ月連続で前月から低下し、前回ドイツが景気後退にあった2012年11月以来のマイナスに転落した。景気の現状判断も+3.2と前月（+25.4）から20ポイント以上も低下し、マイナス転落の寸前にある。
- 調査票の回答期間は9月29日～10月13日。Ifo景況感やPMI指数が低下、受注・生産・貿易統計が軒並み大幅に悪化、DAX株価指数の続落など、ドイツ景気への悲観論が高まった時期と重なる。8月のハードデータの大幅悪化は、夏季休暇や自動車の新車投入時期の関係で下振れした模様だが、そうした特殊要因を割り引いてもドイツ景気のパフォーマンスが低下していることは明らか。各種統計指標の悪化が企業や家計マインドの慎重化を引き起こす悪循環に陥りつつある。ウクライナやシリア情勢を巡る地政学リスク、エボラ熱によるパンデミック懸念なども市場参加者の景況の重石となった。
- 業種別の業況判断は、自動車（前月：▲3.0→今月：▲21.7）、鉄鋼（+2.4→▲14.3）、一般機械（+4.0→▲7.6）、電機（+10.6→▲3.8）など輸出部門の悪化が顕著。ただ、サービス（+20.7→+12.2）、小売（+23.0→+17.1）、建設（+13.5→+4.4）など内需部門の業況にも悪影響が及び始めており、注意を要する。

■ ドイツ：景気の現状・先行き判断



出所：ZEW

■ ドイツ：ZEWの業種別景況感



出所：ZEW

■ ドイツ企業景況感（季節調整済み）

	2013				2014									
	4Q	1Q	2Q	3Q	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	
ZEW景況感（先行き）	56.5	54.7	35.4	14.2	55.7	46.6	43.2	33.1	29.8	27.1	8.6	6.9	-3.6	
現状指数	30.3	47.5	63.1	43.8	50.0	51.3	59.5	62.1	67.7	61.8	44.3	25.4	3.2	
Ifo景況感（総合）	108.8	110.8	110.4	106.3	111.2	110.6	111.2	110.3	109.6	108.0	106.3	104.7	—	
現状指数	111.8	114.0	114.9	111.5	114.4	115.2	115.3	114.8	114.7	112.8	111.1	110.5	—	
先行き指数	106.0	107.8	106.0	101.4	108.2	106.3	107.2	106.1	104.7	103.3	101.7	99.3	—	
PMI製造業指数	52.9	55.0	52.8	51.2	54.8	53.7	54.1	52.3	52.0	52.4	51.4	49.9	—	
サービス業指数	54.0	54.0	55.1	55.8	55.9	53.0	54.7	56.0	54.6	56.7	54.9	55.7	—	

出所：ZEW、Ifo、Markit

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。